

# 県立長野図書館「信州・学び創造ラボ」について

H31.2.22

県立長野図書館

## 1 概要

### (1)総合5か年計画等における位置づけ

◎しあわせ信州創造プラン 2.0～学びと自治の力で拓く新時代～長野県総合5か年計画

【総合的に展開する重点政策】 **学びの県づくり** 生涯を通じて学べる環境の整備

◎第3次長野県教育振興基本計画

【重点政策】 **「共に学び合い、共に価値を創る」学びの環境づくり**

### (2)目指す方向

◎「信州・学び創造ラボ」は、「共知・共創（共に知り共に創る）」の場として、これからの社会を創造する機転となるような公共図書館や公共空間をめざしている。

◎地域の図書館・公民館・大学などをオンラインでつなぎ、市町村と連携して“co-Learning”を全県展開する。

### (3)設置か所

当館3階南面(若里公園側)及び北面(TSB側)一部 約900㎡

### (4)3階フロアプラン

#### ア フロアイメージ

・「信州に関する情報を知ることができる“信州情報探索ゾーン”」と「新しい社会的価値を創造する学びが集うモデル空間を創出する“co-Learningゾーン”」を設ける。

・イメージは別紙：「信州・学び創造ラボ完成イメージ図」

#### イ 備品・機器類

テーブル・椅子(ワークショップ用等)、書架、デジタル工作機器(3Dプリンター等)、パソコン、タッチパネル等を備える。

## 2 工事期間等

◎実施設計	平成30年 9月14日
◎入札	平成30年11月 6日
◎契約	平成30年11月22日
◎工事期間	平成30年11月23日～平成31年3月15日
◎休館期間	平成30年11月16日～平成31年2月28日

## 3 対応状況

### (1)現在までの対応

#### ◎ワークショップの開催

・空間デザインコンセプトワークショップ(3回：5/5・6、6/3、7/1)

・検討ワークショップ運営編(2回：9/19、10/19)

・アンカンファレンス(2回：12/8、2/9)

参加者：建築・設計・図書館・まちづくり関係者及び県民

◎県立長野図書館協議会(3回：H30.2.28、H30.6.27及びH31.2.22)

「信州・学び創造ラボ」設置について説明

(2)今後の予定

◎ワークショップ

アンカンファレンス形式のワークショップを3/24、4/6に開催する予定（開館後も随時開催）

#### 4 開場日

平成31年4月6日（土）

①オープニングセレモニー 13時30分から14時30分

②アンカンファレンス 14時30分から16時30分

#### 5 管理運営等

(1)開館時間

利用動向を把握するため、10月までを試行期間として、次のとおりとする。

11月以降は試行期間の状況を踏まえて開館時間等を決定する。

①平日

期間	開館	閉館	備考
4月から7月	午前10時	午後8時	
8月から10月	午前10時	午後9時	

②土日祝日

閉館時間は午後5時とする。ただし、利用者からの要望や当館のワークショップ・イベント開催の場合は上記

①の時間とする。

※一般図書室及び児童図書室の開館時間は変更しない。

(2)役割分担

区分	役割
図書館職員	・施設配置、利用方法等の案内や説明。 ・利用者同士の交流、利用者による自立的運営を促す機会を提供 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援。
トレーナー	・ラボ運営の核となる団体を県内各地から新たに発掘。 ・人と人をつなぐワークショップの開催。 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援。 ・施設・機器類の利用指導ができる人材の育成。
利用者	・利用者コミュニティの組織化。 ・自主的な施設の管理運営方法を検討し実施。

#### 6 その他

3階（北側）「会議室」の利用について

・会議がある日を除き開放する。

・利用時間は、「信州・学び創造ラボ」と同様とする。

【参考】長野県総合 5 か年計画等における図書館の位置付け

しあわせ信州創造プラン 2.0～学びと自治の力で拓く新時代～長野県総合 5 か年計画

【総合的に展開する重点政策】

**学びの県づくり** 生涯を通じて学べる環境の整備

- 図書館や公民館を活用し、多様な価値観を持つ人々が集まり、影響し合い、新しい社会的価値を創ることができる場や機会の提供
- 図書館・美術館・博物館・学校などの地域における学びの場や、ICT を活用した学びのネットワークの構築を検討

**産業の生産性が高い県づくり** 革新力に富んだ産業の創出・育成(起業・スタートアップへの支援)

- 多様な人々が共創する草の根イノベーションが生まれる環境づくりを県内の図書館や公民館などと連携して進め、地域の課題に対処するソーシャル・イノベーションの取組を促進

第 3 次長野県教育振興基本計画

【基本理念】「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり

【重点政策】

**「共に学び合い、共に価値を創る」学びの環境づくり**

社会教育施設を活用した、創造的な学びの場や機会の提供

- 県立図書館を中心とした多様な情報や人がつながり、アイデアを形にしていける「知と創造の場」としての図書館づくりに取り組む。

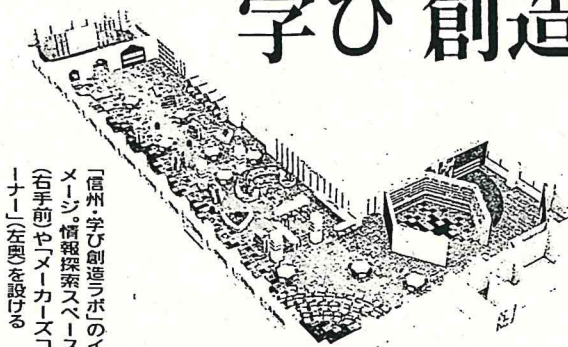
【政策】

**学びの成果が生きる生涯学習の振興**

- 信州にまつわる情報資産の収集保存を強化
- 県立図書館と市町村立図書館とが連携して、情報活用能力の向上に資するプログラムを実施
- 県立図書館を中心に多様な情報や人をつなぎ、「みんなの学び」を推進していくモデル空間を整備

# 県立長野図書館 3階を再生活用

## 学び創造する場へ

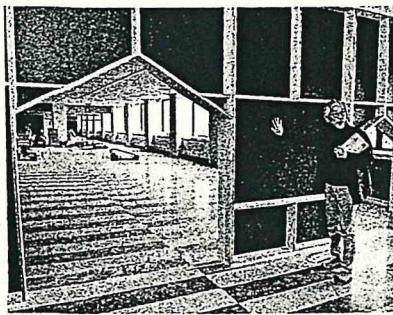


「信州・学び創造ラボ」のイメージ。情報探索スペース(右手前)やメーカースコーナー(左奥)を設ける

### 情報探索スペースや3Dプリンターも

#### 4月オープン予定 交流通じアイデアを

長野市若里の県立長野図書館で「信州・学び創造ラボ」の整備が進んでいる。グループ学習や会議のためのテーブルや、タッチパネル式の情報端末や本を並べた「信州情報探索スペース」(仮)などを設ける計画。オープンは4月6日を予定し、平賀研也館長は「紙やデジタルの形で情報に触れ、人との交流を通じてアイデアを創り出し、さまざまな学びを体験できる場にした」と話している。



整備が進む県立長野図書館の3階

図書館3階をリノベーション(再生活用)し、壁を取り除いてフロア全体を開放的に使う。L字形で約800平方メートル。読書や学習で使える机のほか、黒板、ホワイトボード、本棚も並べる。食に関する学

びの際に活用できるキッチンや憩いの場なども設ける。3Dプリンターやレーザーカッターといった工作機器を並べ、来館者が作業できる「メ

「カースコーナー」(仮)も政策の「推進エンジン」と位置付けた。ラボを県民の新しい学びの場としており、事業費約6千万円を投じている。レイアウトや機能、活用方法は、18年5月から県内の図書館職員や大学生らが参加するワークショップ(参加型講座)を重ね、意見を反映させた。ラボで計画する食やキ

# 信州・学び創造ラボ

完成イメージ図

## メーカースペース(ファブラボ)

3Dプリンタ・レーザーカッター・紫外線プリンタ・  
大判ロールプリンタ・スキャナ・PC…道具置き場、展示ショウケース

書棚

ブース席(モニター+クリックシエア)

## コラニング・ワーキングスペース

マイクロ・ライブラリー(展示スペース)  
ホワイトボード・可動書架ブース

ホワイトボード大壁面

## マグネットポイント

キッチン・ベンチ・カウンター席  
デジタルサイネージ(WebLinked)

## 信州情報コーナー

サイネージシステムx3  
平置きタッチディスプレイ

カウンターひとり席

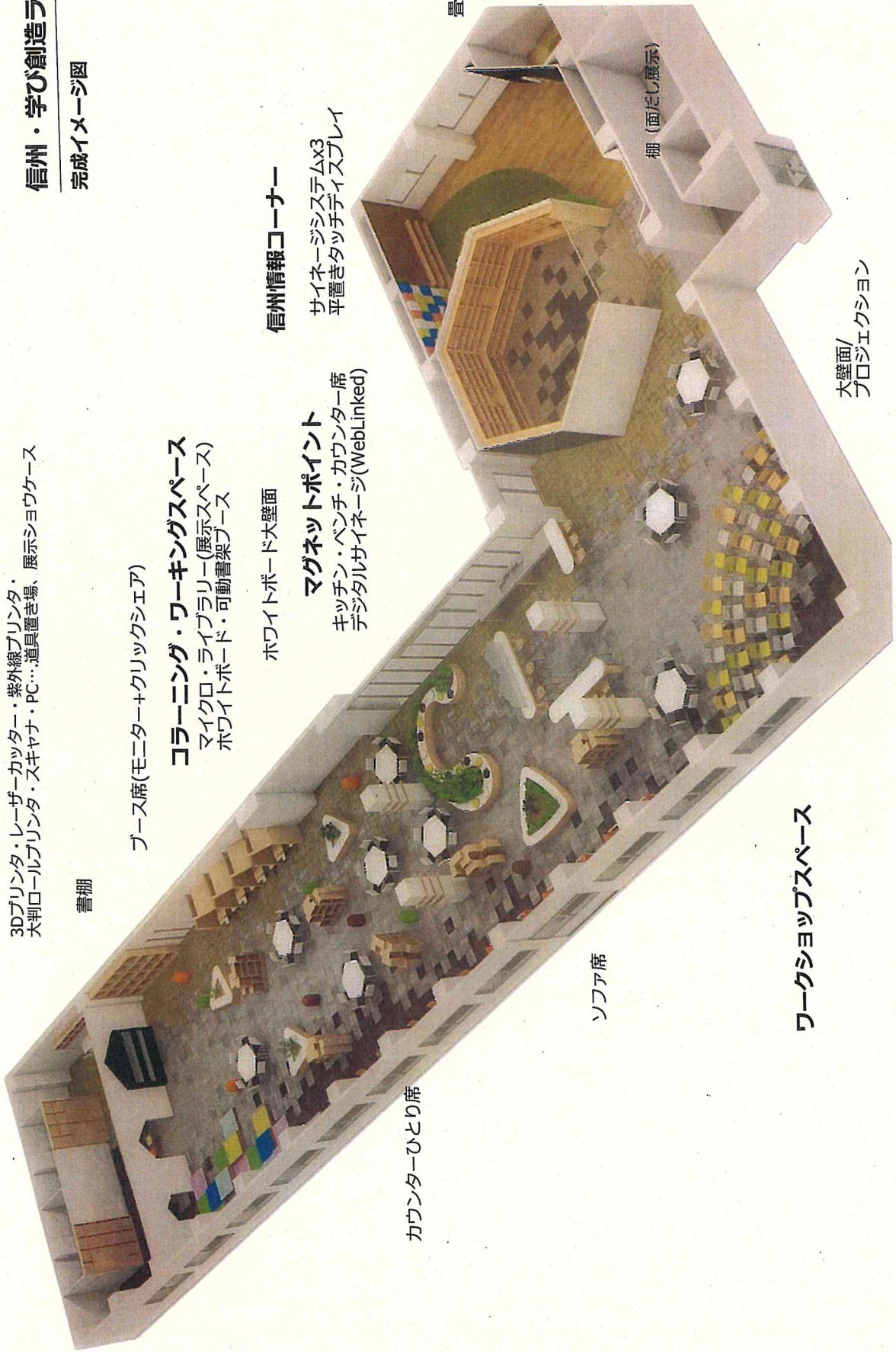
ソファ席

ワークショップスペース

大壁面/  
プロジェクトアクション

畳スペース

棚 (面だし展示)



# 県立図書館業務用システム更新 及び「信州・知の入口」ポータル構築について

H31.2.22

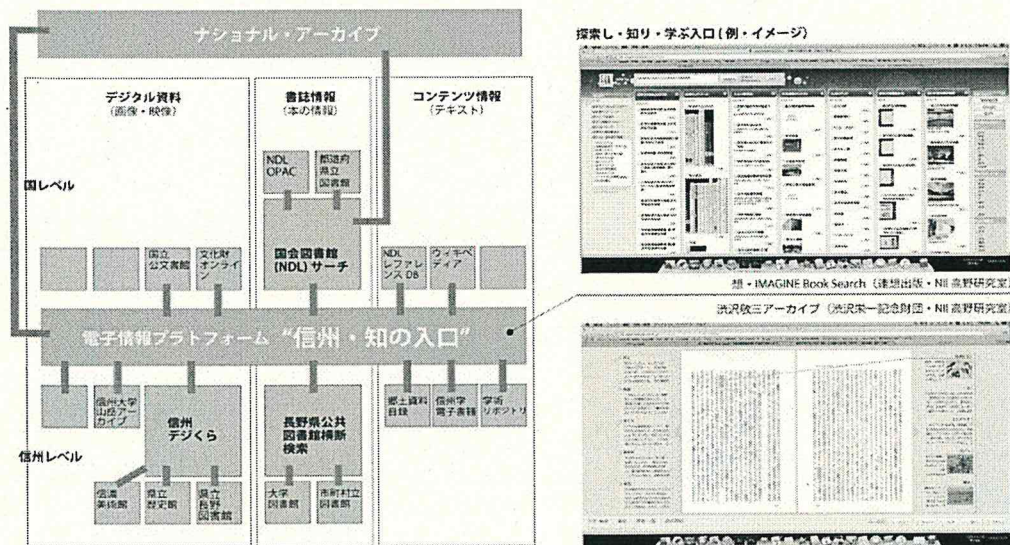
県立長野図書館

## 1 事業の目的

しあわせ信州創造プラン2.0のエンジンとなる「学び」を推進するためには、県民が、自ら情報を探索・理解・選択し活用する力(情報リテラシー)を高めることが重要な課題である。信州に関する情報を、誰もが広く深く手にすることができるよう、信州の知の共有基盤を構築する。

## 2 ポータル構築の基本的な考え方

- 「信州・知の入口」ポータルは、信州に関する様々な情報を一元的に引き出すことができる、インターネット上の情報検索ツール。検索対象として、国・市町村・研究機関・民間等が所有する、信州に関するデータやアーカイブ等を連結し、通常のwebサイト検索エンジン(GoogleやYahoo!等)では表示されない情報へのアクセスを容易にしたり、信用性の高い情報を、深く広く知ることができるようDB同士の相互検索を可能とするシステムを構築する。



- 構築にあたっては、現行の図書館業務システムを再編し、基本機能を維持しつつ、新機能を付加する。

基本機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立長野図書館の蔵書管理</li> <li>・購入図書発注</li> <li>・図書の貸出返却</li> <li>・資料検索</li> <li>・レファレンス業務(調査相談支援)</li> <li>・ホームページ情報提供</li> <li>・県内図書館の蔵書検索</li> </ul>
新規機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県機関(歴史館・美術館・県立大等)が所蔵する蔵書の管理・検索・公開システムの連結</li> <li>・信州に関する史資料情報、デジタルアーカイブデータベース等の横断検索システムの導入</li> <li>→ 県民の学びを支援するインターネット上のプラットフォーム「信州・知の入口」(ポータル)を構築</li> </ul>

- 現行コスト内で実施。

ただし、他の県有システムと一本化することができる部分があれば、予算ごと統合したい。

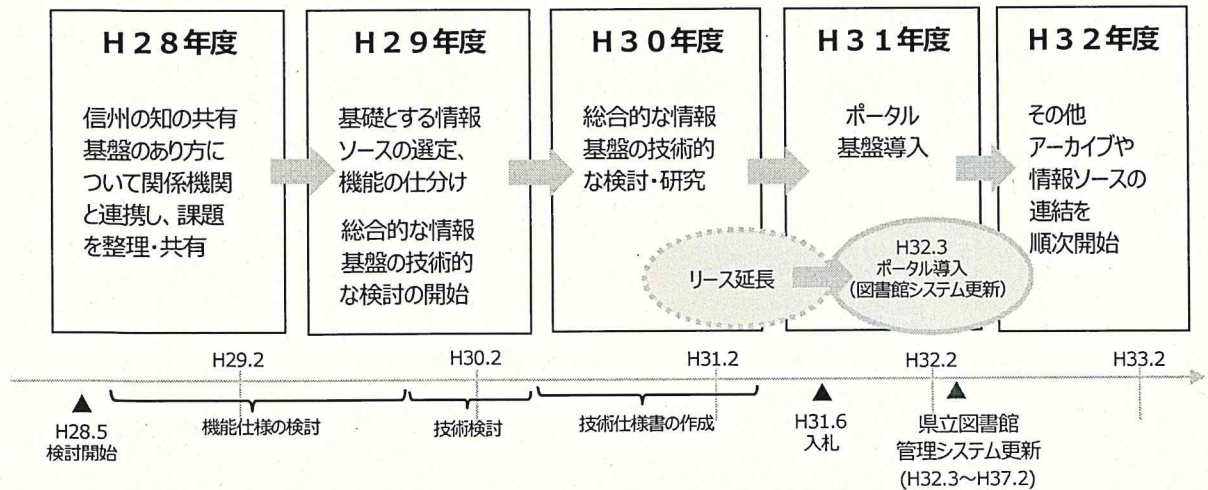
【想定】歴史館蔵書管理システム、信州デジくら、信濃美術館蔵書管理システム、

高等学校図書館業務システム(富士通LB@SCHOOL リース終了H32.9)との連携を模索中

- 次の①～⑤について、リース契約内に含む。

①機器 ②サーバー維持 ③システム開発 ④保守メンテナンス ⑤Webページ及びコンテンツ管理

### 3 スケジュール



### 4 H30年度実績

#### ○ 「機能仕様検討会」の開催

アーカイブ構築、データベースシステム、検索システム、電子書籍との連携等の必要性を検討するため、各部門の専門家と「機能仕様検討会(情報基盤研究部門)」を、県立長野図書館で開催。(8回)

【参加者】 IRI 知的資源イニシアティブ理事 岡本明 氏

(株)カーリル代表 吉本龍司 氏

(株)カーリルシステムエンジニア ふじたまさえ 氏

(株)HUMI コンサルティング代表取締役 中村佳史 氏

#### ○ 連携・協力に関する協定書の締結

##### ① 国立情報学研究所教授高野明彦氏との協定

協定日 平成30年10月25日

内容 信州の情報基盤の確立に向けて、デジタルアーカイブジャパンにおいて期待されている都道府県レベルのつなぎ役としてのアドバイスを受けること等

##### ② 株式会社カーリルとの協定

協定日 平成30年10月31日

内容 新たな図書館サービス構築に向けての調査研究

### 4 H31年度予定

#### ◎業者の選定及び契約

○ポータル構築に向けたアドバイザー等との定期的なミーティングの開催

○H32.3 「信州・知の入口」ポータルの導入、県立長野図書館業務用システムの更新

# 県立図書館業務新システム及び「信州・知の入口」ポータル構築イメージ

